

阿久根市市政施行70周年記念事業

令和4年阿久根未来議 会議録

令和4年8月22日（月）

阿久根市議会議場

市制施行70周年記念事業

「阿久根未来議会」開催要領

1 趣旨

本市の将来を担う子供たちに市政の状況を理解していただき、
未来に向けた市政への提言を発することを目的とする。

2 主催 (一社) 阿久根青年会議所
共催 阿久根市・阿久根市議会・阿久根市教育委員会

3 日時 令和4年8月22日(月) 午前9時30分から正午

4 場所 阿久根市議会議場

5 出席者

阿久根未来議員16名

市 市長, 副市長, 関係課長等

教育委員会 教育長, 関係課長等

議会 議長, 副議長

6 会議内容

別紙議事日程のとおり

令和4年 市制施行70周年記念 阿久根未来議会 会議録

◎ 阿久根未来議会会期日程表

会期 1日間（8月22日）

月日	曜日	日 程	内 容
8.22	月	未来議会会議	会議録署名議員の指名、会期の決定、一般質問、未来への提言

◎ 阿久根未来議会会議録

1 開会の日時 令和4年8月22日（月曜日）午前10時00分

2 開会の場所 阿久根市議会議場

3 出席議員の氏名

1 番	森	海 秋	議員	鶴川内小学校	5年	1班	
2 番	仮屋園	彩 菜	議員	脇本小学校	6年	1班	
3 番	餅越	れ い	議員	尾崎小学校	5年	2班	
4 番	西田	優 汰	議員	西目小学校	6年	2班	
5 番	青木	想 玖星	議員	鶴川内中学校	3年	2班	
6 番	鶴崎	陽 大	議員	阿久根中学校	3年	2班	
7 番	濱邊	一 護	議員	三笠中学校	3年	1班	
8 番	牧野	佑 輝	議員	阿久根中学校	3年	1班	
9 番	桐野		茜 議員	阿久根小学校	6年	3班	
10 番	牟田	秀 虎	議員	折多小学校	6年	3班	
11 番	東新	那 威喜	議員	阿久根中学校	2年	3班	
12 番	又間		力 議員	鶴川内中学校	3年	4班	※副議長
13 番	古田	芽 音	議員	大川小学校	6年	4班	
14 番	松元		晴 議員	山下小学校	6年	4班	
15 番	石澤	竜之介	議員	三笠中学校	3年	4班	
16 番	尾上	くる美	議員	三笠中学校	3年	3班	※議長

4 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事務局 長	牟田	昇 君	次長兼議事係長	上 脇 重 樹 君
庶務係 長	野中	義 昭 君	議事係主査	東 岳 也 君

5 説明のため出席した者の職氏名

市 長	西平	良 将 君	副 市 長	松 崎 裕 介 君
政策監兼企画調整課長	福 島	浩 君	総 務 課 長	中 野 貴 文 君
財 政 課 長	小 中	茂 信 君	市民環境課長	牧 尾 浩 一 君
商工観光課長	尾 塚	禎 久 君	都市建設課長	池 田 英 人 君

<教育委員会>

教 育 長	中 野	正 弘 君	教育総務課長	石 澤 正 志 君
生涯学習課長	平 田	寿美子 君		

◎ 議事日程

日程第1	会議録署名議員の指名	1
日程第2	会期の決定	1
日程第3	一般質問	2
日程第4	未来の阿久根市へ～阿久根未来議会からの提言～	13

◎ 本日の会議に付した事件

日程第1	会議録署名議員の指名	1
日程第2	会期の決定	1
日程第3	一般質問	
1	第2班（青木想玖星、鶴崎陽大、餅越れい、西田優汰議員）	2
1	多様性社会をつくるには	
(1)	市内の企業にも外国人の方が働いていらっしゃいますが、この外国人の方々が阿久根で働きやすくするためにどのような方策を考えていますか。	
(2)	外国人の方々が喜んで阿久根に来てくれるようにするために、廃校などを利用して日本の文化を学べる施設をつくることはできませんか。	
2	通学路の整備について	
(1)	市道の美化、環境整備はどこが責任を持ってやるのですか。	
(2)	通学路に街灯を増やすことはできませんか。	
(3)	児童・生徒、学校からの要望によって、整備してもらうことはできませんか。	
2	第4班（石澤竜之介、又間力、古田芽音、松元晴議員）	5
1	オートキャンプ場について	
	オートキャンプ場にどのような施設をつくるのですか。	
2	市内の小中学校の交流について	
	阿久根市に、にぎわいを取り戻すために、どのような取り組みをするつもりですか。	
3	第1班（濱邊一護、牧野佑輝く、森海秋、仮屋園彩菜議員）	8
1	スポーツの推進と施設の増設について	
(1)	阿久根市のスポーツ施設は少ない気がします。現在、スポーツ施設はいくつありますか。	
(2)	阿久根市内には屋内テニス場がないので、造っていただくことはできませんか。	
2	花いっぱいのもちづくりについて	
(1)	阿久根市でも道路ぞいや人が集まる場所に花いっぱい運動を実施すると「住みたくなるまち阿久根」に近づくと思いますが、市長はどのように思いますか。	
(2)	各地域ごとに花壇や花を植える場所をつくり、市民が参加して「花いっぴいのまち阿久根」になるよう取り組んでいただくことを提案します。この提案をどのように考えますか。	
3	第3班（東新那威喜、尾上くるみ、桐野茜、牟田秀虎議員）	11

1 空き家対策について

阿久根市には326軒の危ない空き家があり、その中には通学路にあるものがあります。安全に登校できるようにするために危ない空き家を撤去する補助金を増やすことはできませんか。

2 学校の情報提供について

小学校や中学校の入学前に体験が1回あるくらいで、あまり説明がありません。その説明も校則のことばかりで怖い印象を持ててしまいます。

また、体験も体験する側に内容を合わせて、普段の学校についてよく分からないという経験がありました。

市内の小・中学校全体で説明の仕方や体験の内容を決めてはどうでしょうか。

また、毎月、各学校のお便りを市民全体が見られるようにして、学校のことをよく分かるようにできませんか。

開 会 行 事

開会行事

開会 午前9時30分

中村阿久根青年会議所理事長

皆様おはようございます。

ただいまから市制施行70周年記念阿久根未来議会の開会行事を行います。

議会が開会されるまでの間、進行役を務めさせていただきます、私は阿久根青年会議所本年度理事長をしております中村と申します。よろしく申し上げます。

初めに、傍聴にお越しいただきましたお客様にお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴席には人数の制限をかけさせていただきます。恐れ入りますが、保護者及び学校関係者の方々におかれましては、御理解いただき、目的の場面が終了いたしましたらほかの保護者の方々と入れ替わりをお願いいたします。また、携帯電話をお持ちの方は、電源を切るかマナーモードに設定をお願いいたします。なお、通常行われる議会では、会議中、傍聴席からの写真撮影はできませんが、本日はぜひ撮影をお願いいたします。ただし、進行に支障がないよう御配慮をお願いいたします。

ここで、未来議会を開催するに至りました経緯を御説明させていただきます。阿久根市ができて今年が70年ということです。そして青年会議所といたしましては、子供たちの声を阿久根市政に届けるということをや何とかできないかと思いい、この事業を実施いたしました。また、行政から見ますとなかなか子供たちの実際の顔というものが見えにくい、この2、3年だったのではないかと感じております。

本日御出席いただいた未来議員の皆様は、各小・中学校より、お一人ずつ、もしくはお二人ずつ選出をしていただきました。その中で、自分たちの中学校、小学校だけではなく、ほかの小・中学校の生徒さんたちと交流を交わし、阿久根の未来について真剣に語っていただく場が何とかできないかという思いでさせていただきます。本日は12時ぐらいまでの予定となっておりますが、ぜひ最後までよろしくをお願いいたします。

それでは早速でありますけれども、出席者の御挨拶を頂戴したいと思います。まず初めに、西平市長、お願いいたします。

開会挨拶 阿久根市長 西平良将

西平市長

皆さんおはようございます。

本日は、阿久根市制施行70周年を記念しました未来議会の開催に当たりまして、16名の生徒の皆様方、本当にこの暑い中出席いただきましてありがとうございます。そしてまた、この間様々な調査研究等に御理解いただき、御協力いただきました阿久根市議会、議長をはじめ議員の皆様方に重ねて御礼申し上げます。

市議会、あるいは行政、こういった場を皆さん方がこのような形で経験できるというのは、大変貴重な機会だと思います。今回、皆様方には計4回ほどの打合せ、そしてまた現地調査、そういったものをしっかりしていただき4つの

班に分かれて質問をつくっていただきました。先日、私のほうも皆様方からいただいた質問をもとに、当局のほうで答弁書というものを作成して、その意見のすり合わせを行ったところでございます。議会も通常の場合と同じように、議員の皆様方がそれぞれ調査、そして研究し、市議会の中で一般質問という形で質問されます。その事前の質問について、当局のほうで話を聞き、実際この議場の場でそのことについてしっかりお答えする。それは、お互いがどういったことを聞きたい、どういったところに問題点を置いている、そしてそれに対して市はどう考えている、どういう対策をしていきたいと思っている。そういう議論を深めるためにこの議場を使って誠心誠意、議論を尽くす場所でございます。もちろんこの後、皆様方からは各班ごとに質問いただきますが、第1回目の答弁が終わった後に、まだ疑問がある際、あるいはこういったことを考えている、そういう前向きな質問をいただき、我々もしっかりとお答えしたいと思っております。

市制施行70周年という節目の年に当たり、先人の皆様方のこれまでの御労苦にしっかりと感謝をし、我々、そして今後の阿久根をつくっていく皆様方と、今後のことをしっかり考えて、今日は議論したいと思っております。

また、保護者の皆様方におかれましては、この夏休みの間、様々な子供たちの行事等がある中で、このように御協力いただいたことに感謝申し上げたいと思います。学校の先生方も含めてこういった会に出席いただくことは大変貴重な会でございますので、今後とも皆様方の御指導のほどもよろしくお願いしたいと思います。

結びになりますが、今日のこの皆様方とのすばらしい議論を通じて阿久根市政がよりよくなること、そして皆様方がこれからも健康で御健勝であることを御祈念いたしまして、開会にあたりましての一言とさせていただきます。

本日はどうぞよろしく申し上げます。

中村阿久根青年会議所理事長

ありがとうございました。

続きまして、市議会を代表いただきまして、野畑直市議会議長に御挨拶を頂戴したいと思います。よろしく願いいたします。

開会挨拶 阿久根市市議会議長 野畑 直

野畑直議長

皆さんおはようございます。

阿久根未来議会の開会に当たり、市議会を代表して一言御挨拶を申し上げます。今年、阿久根市は市制施行70周年という記念すべき年となり、阿久根青年会議所の御協力により、皆さんが市内の各小・中学校の代表となり、阿久根未来議会が開催されることとなりました。

私は、この未来議会の第1回打合せ会のときに、皆さんが日頃感じていることや疑問に思っていることなど、皆さんの目線で、将来、より住みやすい阿久根市となるような質問と提案をしていただきたいと申し上げました。本日の一般質問の通告書を見ると、16人が4班に分かれ、まさに今聞きたいことを市長や教育長に尋ねる内容となっているようです。議場は、学校の教室と雰囲気

少し違いますので、緊張されるかもしれませんが、各班でしっかりとチームワークを取りながら、納得のいく答弁を引き出していきたいと思っております。

現在の市議会の取組について少しお話をさせていただきますが、市議会では、昨年タブレット端末を導入し、今年度から議案書や陳情書など様々な資料を紙データでの配付を取りやめております。また、2年ほど前に議会のLINEグループを作成し、委員会の開催通知等、それまで郵送しておりましたが、全てLINEを使って連絡するようになりました。経費節減につながるとともに、各議員への緊急な連絡にも大変役立っております。新型コロナウイルスの出現により、社会の仕組みが変わっていきます。近い将来、議会や委員会、緊急な会議等は、オンラインでの開催が予測されますので、その取組も進めているところであります。

皆さんには、本日の貴重な経験を契機に、将来、市長もしくは議員となり、阿久根市を盛り上げていただきたいと思っております。その頃には、議会もオンラインで開催することが法律で改正されているのではないかと思います。

結びに、本日の阿久根未来議会が皆さんにとって思い出深いものとなり、また、阿久根市の将来にとっても意義深いものとなりますこと祈念して、市議会を代表しての挨拶といたします。

本日はよろしく願いいたします。

阿久根未来議員の紹介

中村阿久根青年会議所理事長

ありがとうございました。

続きまして、出席者の紹介に移ります。

まず初めに、未来議員の紹介を行いますので、未来議員の皆様は、名前を呼ばれたら起立、そして一礼のほどよろしくお願いいたします。

1番、鶴川小学校5年、森海秋さん。

〔森海秋議員、起立、一礼〕

2番、脇本小学校6年、仮屋園彩菜さん。

〔仮屋園彩菜議員、起立、一礼〕

3番、尾崎小学校5年、餅越れいさん。

〔餅越れい議員、起立、一礼〕

4番、西目小学校6年、西田優汰さん。

〔西田優汰議員、起立、一礼〕

5番、鶴川内中学校3年、青木想玖星さん。

〔青木想玖星議員、起立、一礼〕

6番、阿久根中学校3年、鶴崎陽大さん。

〔鶴崎陽大議員、起立、一礼〕

7番、三笠中学校3年、濱邊一護さん。

〔濱邊一護議員、起立、一礼〕

8番、阿久根中学校3年、牧野佑輝くさん。

〔牧野佑輝議員、起立、一礼〕

9番、阿久根小学校6年、桐野茜さん。

〔桐野茜議員、起立、一礼〕
10番折多小学校、6年、牟田秀虎さん。
〔牟田秀虎議員、起立、一礼〕
11番、阿久根中学校2年、東新那威喜さん。
〔東新那威喜議員、起立、一礼〕
12番、鶴川内中学校3年、又間力さん。
〔又間力議員、起立、一礼〕
13番、大川小学校6年、古田芽音さん。
〔古田芽音議員、起立、一礼〕
14番、山下小学校6年、松元晴さん。
〔「松元晴議員、起立、一礼」〕
15番、三笠中学校3年、石澤竜之介さん。
〔石澤竜之介議員、起立、一礼〕
16番、三笠中学校3年、尾上くる美さん。
〔尾上くる美議員、起立、一礼〕
以上の16名です。
ありがとうございました。

市執行部の紹介

中村阿久根青年会議所理事長

続きまして、本日この阿久根未来議会に出席いただいております行政側の皆様を御紹介させていただきます。

初めに、市執行部から御紹介をいたします。
西平市長です。

西平市長

よろしくお願ひします。

中村阿久根青年会議所理事長

続きまして、松崎副市長です。

松崎副市長

はい、おはようございます。よろしくお願ひします。

中村阿久根青年会議所理事長

続きまして、中野教育長です。

中野教育長

はい、よろしくお願ひします

中村阿久根青年会議所理事長

続きまして、福島政策監です。

福島政策監

はい、よろしくお願ひします。

中村阿久根青年会議所理事長

続きまして、中野総務課長です。

中野総務課長

はい、よろしくお願ひします。

中村阿久根青年会議所理事長

続きまして、小中財政課長です。

小中財政課長

はい、よろしく申し上げます。

中村阿久根青年会議所理事長

続きまして、石澤教育総務課長です。

石澤教育総務課長

はい、本日はよろしくお願ひいたします。

中村阿久根青年会議所理事長

続きまして、池田都市建設課長です。

池田都市建設課長

はい、よろしくお願ひいたします。

中村阿久根青年会議所理事長

続きまして、牧尾市民環境課長です。

牧尾市民環境課長

はい、よろしくお願ひいたします。

中村阿久根青年会議所理事長

続きまして、尾塚商工観光課長です。

尾塚商工観光課長

はい、よろしくお願ひいたします。

中村阿久根青年会議所理事長

続きまして、平田生涯学習課長です。

平田生涯学習課長

はい、よろしくお願ひいたします。

中村阿久根青年会議所理事長

続いて、市議会の皆様を御紹介させていただきます。

野畑議長です。

議長（野畑直議員）

はい、よろしくお願ひいたします。

中村阿久根青年会議所理事長

続いて、濱崎副議長です。

副議長（濱崎國治議員）

よろしくお願ひいたします。

以上で紹介とさせていただきます。

それでは、以上をもちまして開会行事を終了させていただきます。

本会議は10時に開会いたしますので、しばらくお待ちください。

議長・副議長の紹介

牟田議会事務局長

おはようございます。

私は、議会事務局の牟田と申します。

ここでお知らせをいたします。

会議の開会、休憩、再開、閉会の際に少し大きめのベルが鳴ります。御了承をお願いいたします。

それでは、本阿久根未来議会の議長、副議長につきましては、あらかじめ互選により決定しておりますので、御紹介申し上げます。

初めに、議長は16番、三笠中学校3年、尾上くる美議員です。

次に、副議長は、12番、鶴川内中学校3年、又間力議員です。

それでは尾上議長、議長席に移動をお願いいたします。

〔尾上くる美議長、議長席へ移動〕

本 会 議

阿久根未来議会

開会 午前10時00分

開議 午前10時00分

尾上くる美議長

議長に選出されました、三笠中学校3年、尾上くる美です。

これから議長の職務を行います。

ただいまから、阿久根市市制施行70周年記念阿久根未来議会を開会します。

初めに、これまでの私たちの取組について報告します。

私たち阿久根未来議員16名は、阿久根市内の各小・中学校から選出され、これまでリハーサルを含めて4回の打合せ会を行ってきました。

第1回は、7月9日に行い、中学生2名、小学生2名の4名による4班を編成した後、議長、副議長を互選により決定しました。

その後、事前学習として市議会の仕組みや仕事内容、また阿久根市の基本的な計画である阿久根市まちづくりビジョンについて、計画の内容や阿久根市の現状について教えてもらいました。

2回目の打合せ会は、8月1日に行い、市役所内を視察し、それぞれの仕事内容について説明を受けた後、各班で質問事項について話し合いを行いました。

8月8日に3回目の打合せ会を行い、質問について具体的に質問原稿の作成を行いました。

第4回目の打合せ会は、8月19日に、当日のリハーサルを行い、提言について確認いたしました。

本日の質問は、私たちが日頃疑問に思っていることや阿久根市がこんなまちになって欲しいという願いを込めて行いますので、答弁はわかりやすく前向きにお願いします。

また、本日の質問方法については、事前打合せ会で決定したとおり、班ごとに質問を行います。

なお、質問する順番は、班の番号順ではありませんので御注意願います。

それでは、日程に入ります。

◎ 会議録署名議員の指名

議長（尾上くる美議員）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、1番、森海秋議員、5番、青木想玖星議員、この2人を指名します。

◎ 会期の決定

議長（尾上くる美議員）

日程第2、会期の決定を議題とします。

阿久根未来議会の会期は本日の一日としたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

よって、会期は本日一日と決定しました。

◎ 一般質問（第2班 青木想玖星、鶴崎陽大、餅越れい、西田優汰議員）
議長（尾上くる美議員）

日程第3、一般質問に入ります。

先ほども申し上げましたが、質問は班ごとに行います。

初めに、第2班の質問を許します。

〔青木想玖星議員「議長」と呼ぶ〕

2班の議員は登壇して質問してください。

〔第2班登壇〕

青木想玖星議員

私たち第2班は「多様性社会をつくるには」と「通学路の整備について」の2つを質問します。

まず、1問目、「多様性社会をつくるには」です。

西平市長は、令和4年第1回阿久根市議会定例会での施政方針の中で、多種多様な人材を育て、ふるさと阿久根を未来につなぐ取組を進めるとおっしゃいました。

このことについて質問します。

鶴崎陽大議員

阿久根市には「阿久根男女共同参画プラン」があり、男女が働きやすくなるような政策をつくられています。多種多様な人材は、男女や日本人に限ることはないと思います。現在、阿久根市には、外国人を雇用されている企業が増えていると感じます。このような外国人の方々が阿久根で働きやすくなるためにどのような方法を考えていますか。

餅越れい議員

外国人の方々が喜んで、阿久根市に働きに来てくれるようにするためや、一度働いた人がまた阿久根市に来てくれるようにするために、廃校などを利用して日本の文化を学べる施設などをつくることはできませんか。

青木想玖星議員

次に、2問目、「通学路の整備について」です。

鶴川内中学校校区の市道に、ごみや空き缶が散乱している箇所や、外灯が少なく冬場に部活動終わって帰宅するときに、暗くて危険な箇所があるので通学路の整備について質問します。

鶴崎陽大議員

市道の美化、環境整備はどこが責任を持ってやるのですか。

また、通学路に街灯を増やすことはできませんか。

西田雄汰議員

児童・生徒、学校側からの要望によって整備してもらうことはできませんか。

以上で2班の質問を終わります。

回答をお願いします。

〔第2班降壇、質問席へ〕

おはようございます。

第2班の未来議員の皆様方にお答えをいたします。

初めに、多様性社会をつくるために、阿久根市内の企業で働いている外国人の方々がより働きやすくなるための方法についてですが、現在、阿久根市には約130人の外国人の方がおられ、そのうち約90の方が市内の企業で技能実習生として日本の技術を学びに来ていらっしゃいます。特に、「食のまち阿久根」を支えている食品加工業で、多くの外国人の方が技能実習生として学んでおり、各企業を支える貴重な人材となっております。市では、この方々に対して、これまで、新型コロナウイルス感染症の中でも、外国から日本に学びに来る際の飛行機など旅費の一部を補助してきました。その他にも、地域での生活に早く慣れていただくため、家庭ごみの分け方や出し方のパンフレット、市内の観光パンフレットなどを外国語に翻訳し、必要に応じて配布をしております。

また、鹿児島県が実施する外国人の日本語能力の向上や、地域との交流を支援する事業も各企業へ紹介をしております。これからも地域経済を支える貴重な人材である外国人の方々がより働きやすく生活しやすいように、様々な取組を進めていきたいと考えております。次に、外国人の方々が喜んで阿久根に来てくれるよう、廃校などを利用して日本の文化を学べる施設をつくることについてであります。現在、全国の各地域でも外国人労働者に限らず、海外からの観光客等を増やすための様々な取組が積極的に実施をされております。

市が実施している日本や地域の文化、生活様式を外国の方が学ぶ機会としては、教育委員会の書道講座やフラワーアレンジメント講座、そして鹿児島の歴史研究家としてテレビでもおなじみの東川隆太郎先生と巡るまち探検講座などがあり、これまでも市内で生活している外国人の方に受講していただいております。今後もこのような講座を外国人の方々にも広くお知らせし、より多くの方々が受講され、日本の文化を学び、阿久根での生活に慣れ親しんでいただきたいと考えております。新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ2～3年、海外から日本に来る方は減少しておりますが、この感染症が落ちつけば、再び多くの方々が日本に来ることが予想されます。日本や地域の文化などを気軽に学べるようになるということは、外国人労働者をはじめ、多くの外国人の方々に本市に来てもらうことにつながると考えております。現在、市では閉校となった旧大川中学校と旧隼人小・中学校の施設を管理しております。この施設の活用について検討を重ねてきているところでありますが、今回、御提案いただきましたことを含めて活用する方法を引き続き考えていきたいと思っております。そして、今後、広く多くの外国人労働者や観光客に訪れていただけるような様々な取組を行っていきたいと考えております。

次に、通学路の整備についてお答えいたします。

初めに、市道の美化、環境整備についてですが、阿久根市には652の市道があり、その長さは、およそ389キロメートルで、市道は市役所の都市建設課で管理をしております。その管理の主な内容は、道路を広げて通りやすくしたり、歩行者が安心して歩行できるように歩道を造ったり、道路の傷んだ箇所を補修したり、道路周辺の草木を伐採して、見通しをよくしたり、傷んだ橋を補修したり

することなどです。このうち、道路の美化や環境整備については、都市建設課で直接、木や草などの伐採作業を行っていますが、市内の各集落でも地域の道路の清掃活動が行われています。そして市では、この活動に補助金を出して、道路清掃活動を応援しています。また、不法投棄のごみについては、市民環境課の専門職員が回収のため市内全域を巡回していますが、ごみや空き缶のポイ捨て等も多く、これについては自分のごみは自分で持ち帰るというマナーをしっかりと守ってもらうことが何よりも大切なことと考えています。これからも、自分たちが利用する道路は自分たちできれいにするという思いで、市民の皆様と市役所が一緒になって、道路の美化や環境整備に取り組み、あわせてきれいなまちづくりへ向けたマナーや意識の向上を図るための活動を続けていきたいと考えております。

次に、通学路への街灯設置についてですが、皆さんが普段街灯と呼んでいる施設は、主に防犯灯と道路照明施設の2つに分けられます。そして市役所では、防犯灯に関しては総務課が、道路照明施設については都市建設課が事業を担当しています。

まず総務課では、集落の各区が設置する防犯灯の費用について補助を行っています。現在、市内には約1500基の防犯灯が設置されています。市からは、新たに防犯灯を設置したり、既存の蛍光灯をLEDに変更するための費用を補助しているところですが、これらの防犯灯の電気料については、各区の区費等で賄われており、そのため設置箇所については、地域の実情に応じて各区で決定されているところであります。

次に、都市建設課では、道路交通の安全確保を主な目的として、道路照明施設の設置と管理をしています。道路照明施設は、現在、市内の6つの市道に23か所あり、主に橋や交差点に設置されています。道路照明施設の設置が望ましいとされる場所としては、道路の幅や形が急激に変わる場所、橋、バスなどの乗合自動車が停まる場所、これら以外のところで部分的に照明が必要と考えられるところであり、これらの条件を基に必要なに応じて設置しているところです。

皆様の御質問の中で、通学路が、特に冬場の部活動終了後には、暗くて危険であることは十分に理解できる場所ですので、今後、通学路における危険度、街灯の必要性、緊急性等を各学校や各区で話し合ってもらい、要望を出していただき対応を検討してまいります。

通学路などの点検については、この後教育長からお答えいたしますが、未来議員の皆様方も通学路の危険な箇所を発見したときは、学校を通じて情報を寄せください。以上です。

降壇

中野教育長

未来議員の皆様にお答えいたします。

学校の通学路について、安全面で気になる場所などについては、各学校から毎年5月末までに情報をいただき、その後、学校や警察、交通安全協会、地域の方々で合同で、全ての校区内の安全点検を実施しており、令和元年度は21か所、令和2年度は34か所、令和3年度は47か所の点検を行っています。

その結果、西目小学校校区の国道3号沿いの歩道にガードレールを設置した

り、脇本小学校近くの三文字の交差点や鶴翔高校付近の道路では、皆さんが通学するときに道路の脇を歩行しやすいように、緑色にカラー塗装を行ってきたところでは。

現在、各学校では、先生方が安全マップを作成されていますが、児童・生徒の皆さんが、どのようなところが危険か、どのようにすれば安全に過ごせるか、といった視点で考えて作成することも大切であると考えますので、今後、ぜひ取り組んでみてください。

また、皆さんの考えや情報については、各担任の先生方に伝えてください。

教育委員会でもその考えなどを共有し、通学路の整備に生かしていきたいと考えます。以上です。

尾上くる美議長

答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

なければ、第2班の質問を終わります。

〔第2班自席へ移動〕

◎ 一般質問（第4班 石澤竜之介、又間力、古田芽音、松元晴議員）

次に、第4班の質問を許します。

第4班の議員は登壇して質問してください。

〔第4班登壇〕

石澤竜之介議員

第4班は、「観光」と「教育」について質問します。

初めに、「観光について」質問します。

現在、阿久根市には観光地が少なく、人が来る機会があまりないと思います。

解決策として、観光地と呼ばれるところを新しくつくる必要があると思います。そうすることで、少しずつ観光客が増えていくのではないのでしょうか。

阿久根市では、新しくオートキャンプ場が造られます。この施設は、景観をよくするために木を切ったり、キャンプ用品を販売するところを造ったり、SNSを使いやすくするために、Wi-Fiの設備を付けたりする予定だと聞いていますが、どのような施設を造る予定ですか。

又間力議員

阿久根市ににぎわいを取り戻すために、新しく造るオートキャンプ場に来た人に、阿久根市のほかのところにも行ってもらえるようにすることが必要だと思います。

そこで、オートキャンプ場に来た人に、市内の温泉やレストランやお店、道の駅、にぎわい交流館阿久根駅などで使えるクーポン券を配ったら良いのではと考えます。

このようなことをすることで、阿久根市の市街地に観光客やキャンプ客を呼び寄せることができると思いますが、にぎわいを取り戻すためにどのような取組をするつもりですか。

古田芽音議員

次に、「教育について」質問します。

現在、阿久根市では、尾崎小学校と西目小学校の「ぼんたん狩り交流会」・「じびきあみ交流会」、大川小学校、山下小学校、西目小学校、尾崎小学校の4校合同での「修学旅行」・「宿泊学習」、大川小学校と、阿久根小学校の「サッカー交流」などの交流があります。

しかし、阿久根市全体の小・中学校の交流はありません。

松元晴議員

そこで、提案があります。

市内の全小・中学校が集まって、スポーツ面で各学校の混合チームで球技などをしたり、文化面で各学校が集まって、学習発表会を開いたり、学習面でテーマに沿った話合いやワークショップなどをする交流会をすることで、阿久根市の小・中学校のコミュニケーションが取れて、より絆が深まると思います。このような交流を行うつもりはありませんか。

これで第4班の質問を終わります。

〔第4班降壇、質問席へ〕

西平市長

登壇

第4班の未来議員の皆様にお答えいたします。

初めに、オートキャンプ場についてですが、市では番所公園にオートキャンプ場をつくることを計画しています。

番所丘公園は今から32年前の平成2年7月に、「花いっぱい、みんなが憩える公園」をキャッチフレーズとして、公園に来られる方が満足できるよう整備を行い、ゴーカート場をはじめ、アスレチック遊具、ローラースケート場などが多くの方に利用されています。

この公園にオートキャンプ場を作ろうと計画したのは、最近人気のキャンプが見晴らしがよく、花いっぱいのこの場所で手軽にできたら、市内だけでなく市外からももっと多くのお客様に利用していただけたらと考えたからです。

今年先ほど未来議員の皆様が質問の中でも触れられた施設、設備のほかに、キャンプに必要な食事の準備、後片づけのための炊事場や汗をかいたときなどに利用できるシャワー施設をつくる予定で、来年度からはキャンプ場として利用できるようにしたいと考えています。

また、その後は道路や駐車場所を整備し、オートキャンプ場を開設する予定です。

次に、阿久根市ににぎわいを取り戻すための取組についてですが、にぎわいを創り出すためには、まずは、観光客に阿久根に来てもらうこと、さらに観光客に阿久根市内で食事をしたり、たくさん買い物をしてもらうこと、そして、阿久根を訪れた観光客に満足してもらって、何度も阿久根に来てもらうこと。こういったことが必要であると考えています。

現在、市では観光客に阿久根に来てもらうための取組として、オートキャンプ場の整備のほかに、阿久根の海を活用したシーカヤック体験や釣り体験、農産物の収穫体験など、観光客が阿久根に来て楽しむことのできる体験づくり、郷土の偉人寺島宗則記念館の整備。阿久根大島を海水浴だけでなく、1年中楽しむことができるよう、フェリーに乗るときの運賃の割引や阿久根大島の中施

設の整備、阿久根大島でのイベントの開催。市内海水浴場の管理、南九州西回り自動車道の全線開通を見越して、阿久根市外から多くの観光客が笠山観光農園や梶折鼻公園、番所丘公園など、市内の観光スポットを訪れるための取組、こういったことを実施しているところでもあります。

クーポン券の発行につきましては、観光客に阿久根に来てもらい、阿久根市内で食事をしたり、たくさん買物をしてもらうきっかけとして、にぎわいを創り出すための提案だと考えます。

例えば、温泉に入るクーポン券などは番所丘公園から市街地に降りてきてもらうために有効な手段と考えます。

これからも、阿久根市により多くの観光客に来てもらい、阿久根のにぎわい創りにつなげていくために、様々な取組を進めていきたいと考えています。

次の市内の小中学校の交流については、このあと教育長からお答えをいたします。 降壇

中野教育長

市内の小・中学校の交流について、第4班の未来議員の皆さんにお答えいたします。

現在、小学校では、未来議員の皆さんの質問の中でも触れられていたような交流のほか、5・6年生の児童が参加する水泳大会や陸上記録会を開催し、中学校では、生徒会の生徒が参加する中学生会議や代表者が参加する英語暗唱・弁論大会を開催しています。

また、県内では阿久根市だけが開催している小・中学校弁論大会や小・中・高等学校合同音楽会を通して、児童生徒の交流も行っています。

皆さんが提案された小・中学校の混合チームによる競技大会や合同の学習発表会については、小・中学校間のコミュニケーションだけではなく、参加した児童生徒の皆さんの貴重な経験の場としても、非常に良い機会になると思います。教育委員会でも、どのような形であれば開催できるか、各学校の校長先生とも相談の上、検討したいと考えていますので、皆さんも各学校で児童会や生徒会中心に話し合いを行うとともに、担任の先生にも相談されてアイデアを提案してください。

尾上くる美議長

答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

なければ、第4班の質問を終わります。

〔第4班自席へ〕

ここで10分間休憩し、一般質問の後半は副議長と交代します。

10時43分から始めますので、その2分前には席に着いてください。

(休憩 午前10時33分～午前10時43分)

〔副議長議長席へ〕

又間力副議長

休憩前に引き続き、会議を開きます。
副議長に選出されました、鶴川内中学校3年、又間力です。
これから私が議長の職務を行います。
議事を継続します。

◎ 一般質問（第1班 濱邊一護、牧野佑輝く、森海秋、仮屋園彩菜議員）
又間力副議長

次に、第1班の質問を許します。
第1班の議員は登壇して質問してください。
〔第1班登壇〕

濱邊一護議員

私たち第1班は、「スポーツの推進と施設の増設について」と「花いっぱい
のまちづくりについて」質問します。
阿久根市まちづくりビジョンの基本目標5に「文化の復興とスポーツの推進」
と掲げられています。
私は、このスポーツの推進について質問します。
スポーツの推進について、まちづくりビジョンの現状と課題には「市民が生
涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むためには、日常的にスポーツ
に親しむ機会を確保することが重要です」「市民一人一人がスポーツへの関心
を深め、スポーツ人口の拡大を図る必要があります」と書かれています。人が
生きていく上で、スポーツは心身の健康のために必要だと思えます。特に、発
育・発達期の私たちにとって、新しい方法で継続的にスポーツに取り組むこと
は大切なことだと考えます。しかし、阿久根市のスポーツ施設は少ない気がし
ます。現在、スポーツ施設は幾つありますか。また、私はもっと増やして欲し
いと思っていますが、増やすことはできませんか。

牧野佑輝議員

私は中学3年生です。
先日の総体で引退するまでソフトテニス部に所属していました。部活をして
いて困っていたことが一つあります。それは、雨の日になると部活ができな
くなることです。
阿久根市には、屋内テニス場がありません。私たちは屋内テニス場がある長
島町まで往復2時間近くかけて練習に行っていました。送迎は保護者にお願い
するので、保護者にも負担がかかっています。近くに屋内テニス場があれば、
こんな苦労はしなくてよいのと思います。なぜ長島町にはあるのに阿久根市
にはないのかと思います。
阿久根市内に屋内テニス場をつくっていただくことはできませんか。

森海秋議員

次に、「花いっぱいまちづくりについて」質問します。
阿久根市には、長島町みたいに花を植えている場所は少ないと思います。長
島町に行くと、道路沿いやイベント広場、住宅のまわりなどいたるところに花
が植えてあることを目にします。1年を通していろんな花が咲き、訪れる人を
明るくします。これに比べて私たちが住んでいる阿久根市には、花を植えてい

る場所が少ない気がします。花は、人の気持ちを明るくやさしくさせてくれると思います。

私たちの阿久根市も道路沿いや人が集まる場所、人が生活する場所に花いっぱい運動を実施すると、住みたくなるまち阿久根に近づくとと思います。

市長はどう思いますか。

仮屋園彩菜議員

最後の質問です。

阿久根市は「帰ってきたくなる、行ってみたいくなる、東シナ海の宝のまちあくね」がキャッチフレーズです。

私は、市内のいろんな場所に花がいっぱい咲きほこっていると市民の皆さんの心が豊かになり、笑顔が生まれると思います。

また、出水市、長島町、薩摩川内市や鹿児島市などからも多くの人を訪れ、交流人口が増え、活気のあるまちになるとと思います。

そこで提案します。

各地域ごとに花壇や花を植える場所をつくり、市民が参加して「花いっぱいのまち阿久根」になるように取り組んでいただきたいと思います。

この提案をどのように考えるか、お聞きします。

〔第1班降壇、質問席へ〕

西平市長

登壇

第1班の未来議員の皆様方にお答えをいたします。

1問目のスポーツの推進と施設の増設については、この後、教育長から答弁をさせます。

花いっぱいのまちづくりについてですが、日常の生活の中で様々な場所で季節に応じた花がたくさん咲いているのを見ると、多くの人々が心が和み、気持ちが明るくなると思います。私も菜の花や桜、ひまわりなど、季節ごとに咲く花を見ると同じような気持ちになります。花にはストレスを減らし、心を落ち着かせてくれるなどの癒やしの効果があることは、医学的にも証明されているそうです。ごみなどが落ちておらず、花がたくさん咲いているまちは、人に優しいまちであり、そのようなまちをつくることで、たくさんの方が訪れたい、住みたいと思う阿久根になるとと思います。

次に、各地域に花を植える場所をつくり、市民が参加して「花いっぱいのまち阿久根」にするという提案についてですが、花を植える活動は、これまで主に市民の皆様ボランティアにより実施され、地域の美しい風景や景観が維持されており、市においても鶴翔高校で育てた花の苗を希望するボランティア団体などに配布するなど、一緒に取り組んできております。また、花いっぱいのまちづくりを進める活動の一つとして、阿久根市子ども会育成連絡協議会では、花壇コンクールを実施しています。これは、公民館の敷地や地域の道路沿いに設けられた花壇にされている花が、美しく咲き誇っているか、手入れがなされているか、花壇ノートに記録がなされているかなど、子ども会の会員の一人ひとりが、目標や楽しみをもって活動できるよう、子ども会活動の一環として進めている取組です。

このような活動に未来議員の皆様方も参加をしているのではないでしょ

うか。皆さんの提案の花壇や花を植える場所を新たにつくるのも、一つの良いアイデアと考えますが、子ども会の取組のように、まずは皆さんが住む家の庭や空いたスペースなど、多くの方が目にすることができる場所で、プランターなどに花を植え、育てる活動をしてみるのはいかがでしょうか。

道路沿いをきれいにして整備して花壇を設け、花を植える地域もありますが、個人で自分の家に季節の草花を植え、手入れ、管理をすることにより、オープンガーデンとして、いろいろな方々が自由に見学、出入りができるような取組を実施している地域もあります。できるだけお金をかけずに、身近な場所で花を育て、それが広がっていくことがまちの環境や景観をより良くしていくことにつながります。そのためには、実際に花を植え、管理をしてくれる方々を増やしていくことが一番重要なポイントになると考えています。

今回、未来議会で提案をいただいたことをきっかけにして、市民の皆さんで「花いっぱい運動」を実践、推進していくことができれば、阿久根市が掲げる「帰ってきたくなる 行ってみたくなる 東シナ海の宝のまちあくね」を実現することができるかと私は確信をしています。

どうしたら、一人でも多くの皆さんがこの活動に賛同をして参加をしてくれるのか、ぜひ未来議員の皆さんも一緒に知恵を出していただき、活動の輪を広げていただければと考えます。

次の質問はこの後、教育長から答弁をしてもらいます。

降壇

中野教育長

スポーツの推進と施設の増設について、第1班の未来議員の皆さんにお答えいたします。

御質問にあったように、心身の健康のためスポーツに親しむことは大変重要なことであると思います。

市では、これまで皆さん方をはじめ、多くの市民の方々がスポーツに親しんでいただけるよう陸上競技場や野球場、ソフトボール場、総合体育館などを整備し、現在、市が管理しているスポーツ施設は12施設となっています。その多くは、赤瀬川地区に総合運動公園として整備してきましたが、これらの施設は、市民の方々だけではなくいろいろな競技大会、大学の野球キャンプなどにも利用されてきています。そして、令和5年度には総合体育館で鹿児島国体のボクシング競技も開催されますが、今後もさらに広く利用されることを願っています。

ただ、施設を維持していくには多くの費用がかかり、また施設の中には、一番古い陸上競技場で建設から約50年が経過しているものもあり、これから先も利用していただくには計画的に補修や修繕を行っていかねばなりません。そして、この補修などにも、多くの費用が必要となります。

そこで、現在のところ、新しい施設をつくることよりも、まずは、今ある施設の補修などを進め、これまでと同じように安全で快適な利用ができるようにしていきたいと考えています。また、テニス場を利用される方には、雨のときなどは御不便があると思っておりますが、屋内テニス場の整備には多額の費用がかかることや、現在の施設についても、コートや照明など、計画的な補修を行っていく必要があることから、屋内の施設を新しくつくることは、現在のところ

る難しいと考えています。

なお、今回いただいた意見はスポーツの推進のための貴重な意見として大事にし、皆さんにとってスポーツ施設がより利用しやすくなるように今後も考えていきたいと思えます。

又間力副議長

答弁が終わりました。

再質問ありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

では第1班の質問を終わります。

〔第1班自席へ〕

◎ 一般質問（第3班 東新那威喜、尾上くるみ、桐野茜、牟田秀虎議員）

次に、第3班の質問を許します。

第3班の議員は登壇して質問してください。

〔第3班登壇〕

東新那威喜議員

私たち第3班は、「空き家対策」と「学校の情報」について質問します。

初めに、空き家対策についてです。

阿久根市の空き家の現状は、平成28年時点の市内の空き家は1,894軒で、その中の326軒が危険性があるものがあり、1年間に約16軒の空き家を撤去しています。

問題点としては、通学路に危ない空き家があること、空き家の管理者とは少しだけしか連絡がとれていないことがあります。

牟田秀虎議員

このような現状と問題点を解決するには、危険性のある空き家を撤去する補助金の額を増やすことが必要だと思います。補助金の額が増えれば、撤去される危険性のある空き家の撤去が進むと思います。

安全に登校することができるようにするために、空き家を撤去する補助金の額を増やすことはできませんか。

尾上くる美議員

次に、学校の情報についてです。

阿久根市の小・中学校の現状と問題点は、入学前に体験が1回あるくらいで、あまり説明がありません。その説明も校則のことばかりなので、少し怖い印象を持ってしまいます。また、体験する側に体験内容を合わせてしまっているので、逆に普段の学校についてよく分からなかったという経験がありました。

桐野茜議員

このような現状と問題点を解決するためには、市内の小・中学校全体で説明の仕方や体験の内容などを決めてはどうでしょうか。また、毎月、各学校の便りを市民全員が見られるようにして、学校のことをよく分かるようにできませんか。

以上で第3班の質問を終わります。

よろしくお願ひします。

〔第3班降壇、質問席へ〕

西平市長

登壇

第3班の未来議員の皆様方にお答えいたします。

空き家対策についてですが、阿久根市では、平成28年度に空き家の調査を行い、当時、市内全体で1,894軒の空き家と、そのうち崩れる可能性がある危険な空き家が326軒あることを確認しました。

そして、この危険な空き家について持ち主等を調べて、適切に管理するようお願いする文書を送り、平成28年度から令和3年度までの6年間で40件が解体され、残りは286件となっています。

また、道路沿いにある危険な空き家については143件あり、これまでに27件が解体され、残りは116件となっています。

危険な空き家の解体については、最大で30万円を補助し、解体・撤去を進めていますが、持ち主等の費用負担が大きいことなどの理由から、解体・撤去されるまでにかかなりの時間がかかっています。

空き家は個人の財産であり、危険な空き家の解体・撤去は自分自身で行っていただくことが原則で、市の補助金については限度がありますが、今後も通学路をはじめ市民の皆様の日常生活における安全・安心のため、危険な空き家の持ち主とは建物の解体・撤去に向けての話し合いを続け、また解体・撤去の際の支援の内容についても研究をしていきたいと考えています。

次の学校の情報提供については、この後、教育長からお答えをいたします。

降壇

中野教育長

学校の情報提供について、第3班の未来議員の皆さんにお答えいたします。

初めに、小学校や中学校の入学前の説明会や体験についてですが、これは、児童生徒の皆さんが入学後に安心して学校生活を過ごせるように各学校が開催している行事の1つです。現在、各小学校では、入学前までの一人一人の子供の学習状況などが異なることから、入学する皆さんの身近で興味・関心の高い音楽や図工などの授業参観の体験を中心に開催しているところです。また、各中学校では学校生活で小学校と大きく変わることについて、学習面や生活面を中心に説明を行っているところです。

このように入学説明会や体験は、各学校で共通している内容が多いと思いますが、特に中学校では生活面に関する説明が多くなることから校則に関する説明が中心であったとの印象を受けたのではないかと考えます。入学説明会や体験は、先ほども説明しましたが、これから入学される児童生徒の皆さんが安心して今後の学校生活を過ごせるようにとの目的で開催するものです。学習面や生活面、部活動など、学校生活の全体が理解できるよう内容の工夫や説明の仕方、時間配分などについて、各学校でより一層工夫していただくよう校長先生方をお願いしたいと思います。

次に、各学校で作成した学校だよりを全世帯に配布することについてですが、未来議員の皆さんが、各学校について自分の校区だけではなく多くの市民の方々に分かって欲しいという思いを知り、大変うれしく思ったところです。お尋ねの学校便りの全世帯の配布については、現在市には約9,800の世帯があり、

紙での配布は難しいと考えます。

そこでまず、学校では他の学校の取組などが分かるように、各学校に他の学校の学校便りを掲示していただくようお願いしたいと思います。また、教育委員会では、より多くの市民の方々に、各学校の取組や児童生徒の皆さんの頑張る姿を知っていただけるよう、市のホームページで各学校の学校だよりを見ることができるようしていきたいと考えております。

又間力副議長

答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

第3班は質問をしてください。

尾上くる美議員

教育長へ質問です。

学校の情報について、各学校にはほかの学校の学校便りを掲示したいとおっしゃっていましたが、いつまでに検討いただき、実施される場合にはいつまでを目標としていただけるのでしょうか。

中野教育長

ありがとうございます。

この取組についてはですね、もうすぐにはできると思っていますので2学期が始まった9月号から各学校に掲示できるように頑張りたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

又間力副議長

これで第3班の質問を終わります。

〔第3班自席へ移動〕

以上で一般質問は終了しました。

ここで議長を交代いたします。

〔副議長・議長交代〕

◎ 提言第1号 未来の阿久根へ（原案決定）

尾上くる美議長

ただいまから、議長の職務を行います。

日程第5、提言第1号、未来の阿久根へ、阿久根未来議会からの提言を議題とします。

本件については、8月19日の打合せ会で、阿久根未来議会議員全員で決定したものです。

提案説明を12番、又間力議員にお願いします。

又間力副議長

登壇

提言第1号について説明します。

配付されている提言案を朗読して、提案理由に代えます。

提言第1号、未来の阿久根へ、阿久根未来議会からの提言。

市制施行70周年を迎えた阿久根市は、東側には山々が広がり、西側には東シ

ナ海を望むというすばらしい自然が自慢です。

そんな環境の中で、私たちは勉強やスポーツはもちろん、地域の伝統行事への参加、各学校との交流に取り組んでいます。

阿久根市の目標は「帰ってきたくなる 行ってみたくなる 東シナ海の宝のまち あくね」です。私たちが大人になる10年後、20年後に、阿久根市が今よりもっと元気があって、住みやすいまちになるように、阿久根未来議会は次のとおり提言します。

1 阿久根のよさを生かした元気なまちに

阿久根の魅力は、全国に誇れる海岸線など自然豊かなところや、伝統行事、そして文化です。また阿久根には新鮮な魚や野菜をはじめ、おいしい食材がたくさんあります。

このことを、日本はもちろん、世界中にもっと情報発信してください。

そして、みんなで協力して、阿久根を元気なまちにしてください。

2 きれいで住みやすいまちに

阿久根では、清掃活動をしています。今よりもっと積極的にまちをきれいにする取組が行われたらいいと思います。

また、ごみの分別や生ごみを資源にするとともに、生活する場所をきれいにすることはもちろんですが、さらにきれいな花を植えることで、みんなが元気になります。

住んでいる人だけでなく、来てくれた人にも、自然だけでなく、いろんな場所で喜んでもらえるようにしてください。

3 子どもを大切に育てるまちに

阿久根では、子どもを育てやすくするためにいろいろな取組をしていますが、私たちが育てるために、保護者が大変な思いをしていると思います。街灯の数を増やしたり、幅広い年齢層の子供たちが利用できる施設をつくったり、学童クラブの指導員の先生方も増やしてほしいです。

また、赤ちゃんへのベビー用品の贈呈や、小学校に入学するときのランドセル、そして制服などもプレゼントしてほしいです。

子供が元気に安心して暮らしていけるまちに、そして、保護者が安心して子供を育てられるまちになるように、さらに努力し続けてください。

以上のとおり提言します。

令和4年8月22日、阿久根未来議会、以上、提案します。

降壇

尾上くる美議長

提案説明は終わりました。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

討論なしと認めます。

これより、未来の阿久根へ、阿久根未来議会からの提言を採決します。
本件は、起立により採決いたします。

本提言は、原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者全員起立〕

全員起立と認めます。

よって、本提言は、原案のとおり決定しました。

提言第1号、未来の阿久根へ、阿久根未来議会からの提言

市制施行70周年を迎えた阿久根市は、東側には山々が広がり、西側には東シナ海を望むというすばらしい自然が自慢です。

そんな環境の中で、私たちは勉強やスポーツはもちろん、地域の伝統行事への参加、各学校との交流に取り組んでいます。

阿久根市の目標は「帰ってきたくなる 行ってみたくなる 東シナ海の宝のまち あくね」です。私たちが大人になる10年後、20年後に、阿久根市が今よりもっと元気があって、住みやすいまちになるように、阿久根未来議会は次のとおり提言します。

1 阿久根のよさを生かした元気なまちに

阿久根の魅力は、全国に誇れる海岸線など自然豊かなところや、伝統行事、そして文化です。また阿久根には新鮮な魚や野菜をはじめ、おいしい食材がたくさんあります。

このことを、日本はもちろん、世界中にもっと情報発信してください。
そして、みんなで協力して、阿久根を元気なまちにしてください。

2 きれいで住みやすいまちに

阿久根では、清掃活動をしています。今よりもっと積極的にまちをきれいにする取組が行われたらいいと思います。

また、ごみの分別や生ごみを資源にするとともに、生活する場所をきれいにすることはもちろんですが、さらにきれいな花を植えることで、みんなが元気になります。

住んでいる人だけでなく、来てくれた人にも、自然だけでなく、いろんな場所で喜んでもらえるようにしてください。

3 子どもを大切に育てるまちに

阿久根では、子どもを育てやすくするためにいろいろな取組をしていますが、私たちを育てるために、保護者が大変な思いをしていると思います。街灯の数を増やしたり、幅広い年齢層の子供たちが利用できる施設をつくったり、学童クラブの指導員の先生方も増やしてほしいです。

また、赤ちゃんへのベビー用品の贈呈や、小学校に入学するときのランドセル、そして制服などもプレゼントしてほしいです。

子供が元気に安心して暮らしていけるまちに、そして、保護者が安心して子供を育てられるまちになるように、さらに努力し続けてください。

以上のとおり提言します。

令和4年8月22日

阿久根未来議会

尾上くる美議長

本提言は、議会終了後、西平市長に提出します。

西平市長は、提言内容の実現に向けて努力いただきますようお願いいたします。

以上で、阿久根未来議会の日程は全て終了しました。

ここで、阿久根未来議会議員を代表して、挨拶をさせていただきます。

本日は、私たち未来議会議員の質問に丁寧に答えてくださり、ありがとうございました。

私たちが日頃思っていること、考えていることを、このような場所で質問や意見として発表できたことは、私たちの大きな自信になったと思います。

本日の阿久根未来議会の経験を今後の学校活動や勉強にも生かしていきたいと考えます。

それでは、以上で阿久根市市制施行70周年記念阿久根未来議会を閉会いたします。

閉会 午前11時17分

議長は、上記会議のてん末の相違ないことを証明するため、署名議員とともに、ここに署名する。

令和4年8月22日

阿久根市未来議会議長 尾 上 くるみ

阿久根市未来議会議員 森 海 秋

阿久根市未来議会議員 青 木 想 玖 星

閉 会 行 事

閉会行事

中村阿久根青年会議所理事長

お待たせいたしました。

ただいまから、市制施行70周年記念阿久根未来議会の閉会行事を行いたいと思います。よろしく願いいたします。

まず初めに、中野教育長より、講評いただきたいと思います。

阿久根市、中野正弘教育長、よろしく願いいたします。

講 評 阿久根市教育長 中野 正弘

中野教育長

教育長の中野です。講評ということで3点話をします。

まず1点目に、今回の役割についてです。各学校の代表の16名の児童生徒の皆さん、この阿久根未来議会の未来議員としての役割はいかがだったでしょうか。私はですね、何よりよかったこと、大事なことは、皆さんがこの未来議員をしっかりと引受けたことだと思います。ありがとうございました。

この阿久根未来議会は、阿久根市の市制70周年を記念して開催されたものです。また、阿久根市の将来を担う皆さんが、議会について学び、実際に体験することで、市議会や市役所の仕事や仕組みについて、理解を深めること。それから、市の政治への興味関心や参加意欲を高めることを目的としていますので、このことについては、再度しっかりと理解してほしいと思います。

2点目に、市議会の仕事や仕組みについてです。今回、参加された児童生徒の皆さんは、小学校5年生から中学校3年生まででした。今回の内容、阿久根市議会の仕事や仕組みについてでしたが、小学校の6年生の5月か6月ごろに、皆さんはですね、社会科の授業で、国の政治の仕組みについて学習をしていると思います。この関係でですね、各学校では、市のそういった政治について学習していることもあると思います。これを考えますと、6年生以上の皆さんにとっては、割と今回の内容は理解しやすかったのではないかと考えました。

ここで、事前に配付しています「市議会ってどんなところ」という資料を見てください。この資料は、5年生の皆さんにも、市議会の仕組みなどについて理解しやすいように考え、教育委員会のほうで作成した資料です。

初めに「市議会ってなあに」という資料を、9-1ですね、見てください。ここは大事ですので、読みたいと思います。阿久根市に住んでいる市民が、1番身近な問題を自分たちの力で解決し、住みやすい、よいまちにすることを地方自治と言います。ちょっと難しいですけどね、地方自治と言います。よいまちにするためには、市民みんなで話し合うことが1番良い方法ですが、約2万人の市民が全員が一堂に集まることはできません。そこで、代表者を選んで、話し合いをする機会を設けます。これが市議会です。次、市議会の役割。市民に代わって、皆さんの意見や考えを、まちづくりなどに生かしていくこと、これを役割としています。それから市長と市議会の関係ですが、市議会が決まったことについて先頭に立つて行うのは市長、阿久根市では西平市長になります。

次9-2、「議員は誰になるの」という部分ですが、25歳以上の阿久根市民

が、市議会議員に立候補ができます。選挙は4年に1回、18歳以上の阿久根市民の方が立候補した人に投票ができ、たくさんの人から投票を得た人が議員に当選するかたちになります。次の2枚目を見てください。議員の人数は真ん中にあります、15人です。議長と副議長は、市議会15人の中から、市議会の代表として、会議を務める議長と、議長を助ける副議長がいます。阿久根市は、野畑議長と、濱崎副議長になります。

9-3、「どんな仕事をするの」ですが、まず本会議、議員全員が集まって話し合いをするのがこの本会議です。そして、市民の生活をより良くするために、市の決まり、条例や市の仕事や予算を話し合う場で、採決などによって決定します。毎年3月、6月、9月、12月に開かれます。常任委員会、本会議で話し合う前に、その内容を詳しく話し合うために、常任委員会というのがありますが、阿久根市議会は、総務文教委員会、産業厚生委員会、広報広聴委員会、予算委員会の四つの委員会があります。その下のほうに2行下ですが、議員の皆さんは、市民の要望を聞いたり、より良い暮らしができるように日々調査や研究を行っています。

最後9-4、「会議を見学するには」これは誰でも見学することができますが、市議会のホームページから生中継や録画したものを見ることができます。資料についてはこれで説明を終わります。

次、最後3点目ですが、これまでの打合せ会と本日の実際について公表します。まず、打合せ会についてですが、4回開催されました。その中で皆さんは、課題の研究や質問内容の検討、そして質問の要点をまとめを行っていると思います。また、2回目だったと思いますが、市役所の各課を訪問されて、各課から行ってる仕事について説明を受けたと思います。ここで大事にしてほしいことがあります、市の行っていることについて、どのようになっているのだろうか、とかですね。どうしてだろうか、こういった疑問を、まず自分なりに持ってほしいと思います。そして、その疑問を持った次には、そのことについて自分で考えてほしい。そして、次は、考えたことをまとめてほしい。最後はですね、自分の考えを、みんなの前で発表すること、述べるということ。この流れが大事だと思います。それからもう一つ大事にしてほしいことが、ほかの人の意見を聞いて、また自分の意見について考え直すという、こういった活動も大事です。このことについて、今回のこの体験を通して、できたこと、できなかったことをしっかりと自分なりに振り返りをしてほしい。それから、今話したことを、もう1回言いますね。疑問を持つ、そして考える、そして考えたことをまとめる。そして、自分の意見を述べる。加えて、ほかの人の意見を聞いてまた考える。こういった活動はですね、学校での学習、それから社会生活でもしっかりと生かせるので、ぜひ参考にしておいてほしいと思います。

それから、本日の実践についてですが、まず1点目の説明の仕方についてです。進行された、議長の三笠中の尾上さん。副議長の鶴川内中の又間さん。それから、質問された各班の皆さん、しっかりと説明ができ、大変よかったと思いました。少し課題を申し上げますが、意識してほしいこととして、私もそうなんですけどね、私はここに立って話をするの初めてなんです。ですので、風景が違いますので、少し緊張しています。そうするとですね。ちょっとこう言

葉が詰まってしまったりとか、早口になってしまうことがあるんです。ですので皆さんもですね、緊張したとき、緊張するときは、いつもよりはゆっくりと話をすると、上手に説明ができると思いますので、学校でもそういったことを意識してください。

それから、2点目の説明の聞き方についてですけど、皆さん緊張してて、大変姿勢がよかったと思います。ここです、大変難しいとは思いますが、簡単にメモをとってほしいと思いました。例えば、市長が説明されたときに、わからない言葉が出てきたと思います、私の説明とかです。そんなときに、特にここで質問された代表の皆さんは、メモをとること。これがですね、4人の児童・生徒の皆さんができていたんです。ですので私は多分、次質問が来るなと思っていましたが、最後の班の未来議員の方がですね、質問されました、これはメモをとっての質問だったと思いますので、こういったメモをとることで、次の質問ができる。そうなりますので、こういった機会なかなかないかもしれませんが、いろんな場所でメモをとることを意識してほしいと思います。

それから最後に、提言についてですけど、3点いただきましたが、どの提言もですね、分かりやすくしっかりとまとめられていました。皆さんの思い、今以上に阿久根市が元気があり、住みやすいまちになってほしいとの思いがしっかりと、込められた提言になっていました。

全体まとめとして、皆さんは今回初めての体験でしたが、未来議会の未来議員としての役割をしっかりと果たせたと思います。今後ですね、今回の体験を学校生活のいろいろな場面に生かしてほしいと思います。それから私のほうで校長先生方をお願いしますが、今回の経験、発表の場、こういったことをですね各学校で皆さんが、ほかの児童生徒の皆さんに発表できるように、その場をつくっていただきますので、ぜひ皆さん、どこかの機会、皆さんの今回の体験の話をしてほしいと思います。

結びになりますが、阿久根未来議会の開催に当たりまして、本日まで多大な御尽力を賜りました、阿久根青年会議所中村理事長様をはじめ、関係者の皆様、市議会の皆様、それから今回参加された児童生徒、御理解いただきました保護者の皆様、学校の先生方に深く御礼を申し上げまして、講評とします。

中村阿久根青年会議所理事長

ありがとうございました。

続きまして、この未来議会の終了に当たり、阿久根市議会濱崎副議長に御挨拶をちょうだいしたいと存じます。

副議長よろしくお願ひいたします。

閉会挨拶 阿久根市議会副議長 濱崎國治

濱崎副議長

市制施行70周年記念事業、阿久根未来議会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

未来議員の皆さん、本日は緊張の中、この阿久根未来議会に出席され、長時間にわたり、大変お疲れさまでした。本日の質問は、皆さんが日頃から、家庭や学校そして地域の中で考えたり、疑問に思ったことを発表されたと思います。

その内容はまさしく、阿久根市が直面する問題であり、皆さんの捉え方や、考察力に感心いたしました。これらの質問の内容や提言は、今後、市議会においても参考にさせていただきたいと思っております。

これからも、疑問に思ったり、聞いてみたいことがありましたら、市役所か市議会議員にお尋ねになるなど、問題を一つ一つ解決していくということも大事ではないかと考えております。そして、この阿久根未来議会に参加された皆さんの中から、これから先、阿久根市のリーダーになっていただく方が、育つことを期待をいたします。

結びに、これからまだ暑い日が続きますが体に気をつけて、勉強にスポーツに、精いっぱい頑張って、成長されることを期待して閉会の挨拶といたします。本日は大変お疲れさまでした。

中村阿久根青年会議所理事長

ありがとうございました。

本日を迎えるに当たり、また、本日1日を過ごす中で、阿久根未来議員の皆様、本当にお疲れさまでした。また、準備段階から御協力をいただきました、阿久根市議会事務局、そして阿久根市教育委員会の皆様に心より御礼を申し上げます。また、準備段階と本日と、阿久根市西平市長をはじめ、職員の皆様に、様々な面でお助けをいただきましたことに改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

本日、この議場で未来議会というものが開催をされましたけれども、これで終わりではなくて、皆様が提言した内容が、いかに市政に反映されるか、そこまで見届けていただくのが、この未来議会でございます。ぜひ、市議会だより、市報等、これからも御注意いただきながら、御持続いただければと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

それでは、以上をもちまして、市制施行70周年記念、阿久根未来議会の閉会行事を終了いたします。

皆様本日は大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会 午前11時34分

